

3月11日（火曜日） 1年生が船木大橋架け替え工事を見学【地域学校協働活動】
船木地区社会教育推進委員会



船木地区社会教育推進委員会では、50年に1度のチャンスである「国道2号線茶屋交差点改良工事及び船木大橋架け替え工事」の勉強・見学会を楠中学校1年生を対象に実施しました。この取組は、委員会で技術士の委員から提案され実現しました。

まず、教室で技術士の委員から船木の町の道路と河川の移り変わりやインフラ整備等に関する話を聞きました。次に、国土交通省の中国地方整備局宇部国道維持出張所の所長さんから、事故防止という改良工事の目的やこの6年間の工事過程の様子を聞き、受注業者である大栄建設株式会社の工務部次長さんからは、3D映像を使った作業状況やICT技術活用の説明を聞きました。これまで3日間かかるような測量が、ドローンでは30分でできることも教えてもらいました。

その後、実際に工事現場に行き、教室で見た3D映像を確かめるように地上から10メートル下の橋台の深い底をのぞいたり、測量機器を操作したりVRゴーグルを使って3D映像を見たりしたことで、生徒はその迫力に驚きの声をあげていました。

生徒にとって、土木工事について理解を深めるだけでなく、毎日通学で目に見ている橋の架け替え工事に多くの人が関わり、何年もかけて安全かつ計画的に実施されていることに気づく貴重な機会になりました。

2月28日（金曜日） 神原ひなまつりボランティア【地域学校協働活動】
神原地区社会教育推進委員会



神原地区コミュニティ推進協議会主催の「第12回神原ひなまつり」が2月28日から3月2日まで神原ふれあいセンターで開催されました。神原地区社会教育推進委員会も他団体とともに2月14日に神原小学校を訪れ、1年生に折り紙や紙皿を使ったひな人形作りの指導をしました。それぞれの児童による個性あふれる作品が出来上がり、ひなまつり会場に飾られました。

前日の会場準備には、神原小児童10名と神原中学校の生徒13名、さらに今回新しく慶進高校にも呼びかけたところ生徒12名がボランティアとして参加してくれました。児童生徒は、地域の方々から寄贈されたひな飾りを、地域の大人に教えてもらいながら一つ一つ丁寧に並べていました。また、試験中のため参加できなかった宇部中央高校の生徒からは、手作りのひな祭りカードが届けられ、来場者にプレゼントされました。

中・高校生とともに小学生の時から地域の行事に関わっていくことで、故郷への愛着もより深まっていくことでしょう。

2月26日（水曜日） 厚東小6年生とふれあいセンター清掃【地域学校協働活動】
厚東地区社会教育推進委員会



厚東地区社会教育推進委員会では、厚東小学校6年生から、お世話になった厚東にお礼がしたいという依頼を受けて、児童と委員と一緒に厚東地域のゴミ拾いをする事になりました。しかし、予定した日が天候不良だったため、厚東ふれあいセンターの施設内の清掃活動に変更して行うこととなりました。普段から児童にとって学童や行事等でよく利用しているふれあいセンターの施設内のトイレ、講堂、ホールを、1時間かけて念入りに丁寧に掃除しました。委員からも、6年生がテキパキと掃除をする姿に感心し、児童の入学当初のことを思い出してその成長ぶりを実感した、との嬉しい声を聴きました。地域の方と協働する地域への恩返し活動は、児童にとっても地域への愛着を生み、大人にとっても地域で子どもを育てる事の充実感を味わうことのできる貴重な取組となっています。

2月18日（火曜日） 全校児童で麦踏み体験【地域学校協働活動】
吉部地区社会教育推進委員会



地域団体の「夢ゆめクラブ吉部の郷」が栽培・管理している『夢ガーデン』の畑で、吉部小学校の全校児童が麦踏み体験をしました。12月に地域団体が開催する夢ゆめ会議で麦踏みについて協議された際、“ぜひ子どもたちに体験させたい”という校長からの申し出により実現し、10年ぶりの復活となりました。吉部地区社会教育推進委員会会長（地域学校協働活動推進員を兼務）の呼びかけで、地域学校協働活動として社教推も一緒になって取り組もうと、当日は社教推委員4名も参加しました。

「夢ゆめクラブ吉部の郷」の方から、麦踏みの効果ややり方を教えていただいた後、児童は各グループに分かれて、吉部小の校歌に合わせてリズムカルに足場を移動しながら、3～5センチに伸びた麦の若芽を踏みます。麦踏みによって、麦は根の張りがよくなり、根元の土が踏み固められ倒れるのを防ぐ効果があるそうです。

成長した麦は、夏に開催される「ほたるまつり」の蛍かごの材料として使われます。栽培の過程に関わったことで、今年は蛍かごを見ても昨年までとは違いより一層愛着を感じることでしょう。

2月18日（火曜日） 大人と児童の探鳥会【地域学校協働活動】
西宇部地区社会教育推進委員会



西宇部地区では、地区コミュニティ推進協議会の主催で社会教育推進委員会が協力した探鳥会に、地域住民13名と西宇部小学校2年生児童25名が参加しました。

当日、地域の参加者は西宇部ふれあいセンターに集合し、地区在住で日本野鳥の会山口県支部の崖登司之氏から、時節の野鳥や観察時の注意点等について説明を聞いた後、西宇部小近くの岩瀬田堤をめざして出発し、途中道路沿いの木の枝や田畑で羽を休めるシロハラやジョウビタキなどを観察し、約1時間かけ岩瀬田堤に到着し、西宇部小2年生児童も合流しました。児童は、野鳥や観察する際の注意点について説明を聞いた後、双眼鏡で水面を泳ぐマガモやアオサギ、カワウなどを観察し、「野鳥がいた、見えた」と歓声をあげていました。初めて野鳥観察をした児童がほとんどで、児童にとって貴重な経験ができるよい学習機会となりました。

この探鳥会は、身近にある豊かな自然という西宇部地区のよさを生かした活動で、今後もより内容を充実させ継続していくことで、大人と児童の交流、学びの場として大切な協働活動となることを期待しています。

2月8日（土曜日） 地域の大人も子どもも「彫刻カルタ」
【地域学校協働活動】 【社会教育活動】
見初地区社会教育推進委員会



見初ふれあいセンターで、見初地区社会教育研修会が行われました。講師の宇部市文化振興課学芸員から、宇部市が彫刻のまちとなった経緯の話のあと、子どもと大人と一緒にグループに分かれて、「彫刻カルタ」をしました。読み上げられたカルタを取るたびに、講師がその彫刻について解説したり、参加者から感想を聞いたりすることで、彫刻が身近で親しみのあるものとなり、カルタ競技がより一層面白く感じられました。子どもたちからも、「宇部空港にあったよ」「市役所の近くで見たよ」といった声が上がっていました。

最後に、参加者は取ったカルタを並べて、それぞれ自分が好きな彫刻を紹介しました。子どもたちの中では、見初小学校内にある彫刻「プラントロニカ宇部」が好きだという声が多く、日常的に目にすることで親しみを感じていることが伝わってきました。

カルタ取りの最中は、大人も子どもも真剣な表情の中にも笑顔があふれ、一緒に楽しみ学ぶ姿が見られました。彫刻のまちとして「彫刻」を通じた取組により、地区の交流が広がることを期待しています。

2月8日（土曜日） 「彫刻かるた」で、知ってふれあって楽しもう
【地域学校協働活動】 【社会教育活動】
見初地区社会教育推進委員会

見初地区社会教育研修会

日時 令和7年2月8日(土) 10時～11時
場所 見初ふれあいセンター3階大会議室

『UBEビエンナーレとアートのあるまち』

講師 佐藤麻由様

(宇部市文化振興課 UBEビエンナーレ推進係)



市内には約200点の彫刻が点在しています。
みなさんはいくつご存じですか？

見初小学校の子供たちも来ます。
いっしょに彫刻カルタを楽しみましょう。



(申し込みは不要です。気楽にお越しください)

主催 見初地区社会教育推進委員会
協力 宇部市文化振興課
問い合わせ 見初ふれあいセンター ☎21-0348

見初地区社会教育推進委員会では、宇部市文化振興課の職員を講師に迎え、『UBEビエンナーレとアートのあるまち』をテーマとした講演会を見初ふれあいセンターで開催します。講演会後には、大人と子どもと一緒に「彫刻かるた」を楽しみます。

宇部市は特色ある教育の一つとして彫刻教育を推進していますが、その中でも見初小学校は学校教育基本構想に彫刻教育を掲げており、昨年度は地域の方を学校に招いて児童と一緒に「彫刻かるた」を実施しました。それが好評であったことが今年度の社会教育推進委員会で取り上げられ、今回は見初地区社会教育研修会として開催することになりました。

見初小学校の彫刻教育を、地域主体で子どもと大人と一緒に学ぼうという取組は、まさに学校と地域が連携した見初地区ならではの特色ある地域学校協働活動といえます。

12月14日(土曜日) ビブリアバトルで上宇部中学校生徒が大活躍！

【地域学校協働活動】

上宇部地区社会教育推進委員会



上宇部地区社会教育推進委員会では、昨年度に続いて2回目となるビブリオバトルを開催しました。発表者は7名で、そのうち上宇部中学生が6名おり、一人3分の持ち時間で自分のおススメの本を紹介しました。発表する生徒たちは、当日までに社会教育推進委員会委員の指導を受けながら発表の練習をしました。また、当日の中学生スタッフとして、上宇部中有志のボランティアである「ふるさと愛し隊」の生徒6名が参加し、司会やタイムキーパー等の係を担当しました。中学生スタッフも、当日までに上宇部ふれあいセンターに集まり、垂れ幕や投票用紙作りを行うなど着々と準備を進めました。観覧者30名による投票の結果、第1位のチャンプ本は中学2年生が発表した『また君と出会う未来のために』に決定しました。参加した中学生からは、「優勝をねらっていたので悔しかった」「練習では3分以内で発表することができていなかったが、当日は3分以内にできたのでよかった」「参加して楽しかった」といった感想がありました。準備・練習・発表・運営を通して中学生が活躍するこのビブリオバトルは、生徒たちの成長を感じるとともに、関わる大人も喜びや楽しみを味わうことができる有意義な地域学校協働活動となっています。

12月10日(火曜日) 社会教育研修会で小中学生と語り合おう！
【地域学校協働活動】 【社会教育活動】
恩田地区社会教育推進委員会



恩田地区社会教育推進委員会では、社会教育研修会「恩田小・常盤中の子どもたちと語ろう」を12月10日(火)に実施しました。第一部「常盤中学校区小中合同総合的な学習の時間発表会」の後に、第二部として「意見交流会」を設定し、子どもたちの意見を聞いて地域が行う学校への支援の在り方を考えました。当日は、総合的な学習の時間の授業として、恩田小学校体育館に地域の方や保護者の方、5・6年生が集まり、常盤中学校2年生の5名が「LGBTQについて」、恩田小学校6年生の6名が「原爆の恐ろしさ～世の中が平和になるには～」と題して発表しました。発表会后、グループ別に分かれ、児童・生徒と地域の方が発表内容について意見交換を行いました。どのグループでも活発な議論が行われ、子どもにとっても大人にとっても貴重な学びの場となりました。恩田地区では、小中連携も図りながら地域学校協働活動と社会教育活動が同時に展開されています。

11月30日(土曜日) 地域づくり口演会を合同開催！ 【社会教育活動】
新川地区・琴芝地区社会教育推進委員会

令和6年度地域づくり口演会

笑って元気!

楽しい口演会です。
来て・聞いて・笑って
楽しい時間を共有しましょう!
是非ご参加ください。

時間：令和6年11月30日(土)
10:00~11:30

場所：宇部市福祉会館 4階大ホール

講師：口演家 矢野 大和

テーマ：残りの人生を楽しんで行こう!

参加費 無料

問合せ先：琴芝ふれあいセンター
(21-1534) 主催：琴芝地区社会教育推進委員会
担当：岸田・吉原 新川地区社会教育推進委員会

◆ 地域づくり口演会のご案内

令和6年度地域づくり口演会

笑って元気!

楽しい口演会です。
来て・聞いて・笑って
楽しい時間を共有しまし
よう。
是非ご参加ください。

テーマ：残りの人生を楽しんで行こう!

講師：口演家 矢野 大和(やのたいわ)

口演日：令和6年 11月 30日(土)

時間：10:00 ~ 11:30

場 所：福祉会館 4階大ホール

問合せ先：新川地区社会教育推進委員会

担当：宮地・浜谷 ☎：21-2258

【新川地区社会教育推進委員会・琴芝地区社会教育推進委員会】

新川地区社会教育推進委員会と琴芝地区社会教育推進委員会が合同で11月30日(土曜日)に、地域づくり口演会を開催します。講師は口演家矢野大和さん、テーマは「残りの人生を楽しんで行こう!」です。遠方から講師を招くには旅費も含め高額になりますが、合同開催により負担が少なくなります。年間400回を超える口演活動をされている人気の講師を新川地区社会教育推進委員会が招くにあたり、琴芝地区社会教育推進委員会に声をかけ実現しました。合同開催によって募集範囲も広がったため、新川・琴芝地区以外の方も参加できるそうです。宇部市福祉会館に“来て・聞いて・笑って楽しい時間を共有”して、地域みんなで元気になりましょう!

11月21日(木曜日) 全校児童と地域花壇づくり【地域学校協働活動】
吉部地区社会教育推進委員会



第1回の社会教育推進委員会で、今年度の活動として実施が決まったミニ花壇づくりを、地域団体の「夢ゆめクラブ吉部の郷」が管理をされている地域庭園『夢ガーデン』で行いました。吉部小児童と社会教育推進委員会委員、地域への呼びかけで参加されたボランティア及び関係職員とが集いました。はじめに、ガーデニング講座として、講師から花壇整備のコツや「人が環境をつくり、環境が人をつくる」というお話がありました。その後、花の配置等のアドバイスを受けながら、児童と地域の方々と一緒に苗を植えました。例年だと地域団体「夢ゆめクラブ吉部の郷」のみで行っていたため、3~4日かかっていたという花の苗植えが、短時間に終了できたと地域団体の方から大変喜ばれました。児童と社会教育推進委員会が花壇づくりに参加することによって、子どもと大人が地域の花壇で一緒になって楽しく活動できた上に、地域団体の抱えていた課題解決の一助にもなりました。

11月19日（火） 弦楽器製作者によるキャリア教育出前授業【地域学校協働活動】
11月24日（日） チェロカルテットコンサート【社会教育活動】
常盤地区社会教育推進委員会



常盤地区社会教育推進委員会では、社会教育推進委員会で協議された活動が次々に実施されています。11月19日（火）には、常盤小学校において、学校近くの石井弦楽器工房の石井秀太郎さんをお招きして、5年生を対象にキャリア教育出前授業が実施されました。授業では、バイオリンの製作工程や石井さんの職業観、人生の先輩として子どもたちに贈りたい言葉などを話していただき、最後にはチェロの演奏を披露していただきました。

また、11月24日（日）には、常盤ふれあいセンターにおいて、石井さんもメンバーとなっているアマチュアチェロ奏者4人グループの「チェリズモ」をお招きしてコンサートが開催されました。生の音楽に触れる機会に多くの方が参加され、クラシックからポピュラーなものまで数々の名曲を演奏していただきました。

素敵な地域の人材を学校と地域の方々に紹介して、子どもから大人までが音楽を通して心豊かになる取組となりました。

11月18日（月曜日） 講話「社会教育推進委員会の役割について」
【社会教育活動】 【地域学校協働活動】
上宇部地区社会教育推進委員会



第2回宇部市地域学校活動研修会の講話として、上宇部地区社会教育推進委員会が「社会教育推進委員会の役割について」をテーマに、10年間続く「まなびーや」の取組や、小中高との協働活動について発表しました。「まなびーや」は、上宇部地区において生涯学習を推進することを目的に、2015年から活動しています。これまで、登録制のボランティア講座として、「燻製づくり」や「町歩き」など、多彩な講座を開設してきました。

コロナ禍では活動の中止を余儀なくされましたが、社会教育推進委員会について、2021年に地域学校協働本部の役割が加わってからは、小中高との協働活動にも取り組んでいます。中学生中心での「ビブリオバトル」、小学生との「WakuWakuスポーツフェスタ」、さらに高校生との「まなぼうさい」「手作り楽器で演奏会」を実施しました。

上宇部地区には宇部高等学校（探求科）があるという特徴がありますが、その高校生と地域をつないだのは地域学校協働活動推進員の存在があったからです。コーディネーターとして、人と人をつなぐ役割は重要です。

上宇部地区社会教育推進委員会は、社会教育を基盤とした「人づくり、つながりづくり、地域づくり」を役割とし、“できる人ができることをする”“やりたいことをやりたい人がする”というスタンスで、地域団体と連携して活動を継続していくことをめざしています。

11月7日（木曜日） 中学生がアシストするスマホ講習会開催に向けて協議しました
【地域学校協働活動】
万倉地区社会教育推進委員会

地域の中高生がサポーター！基礎から学べる！
スマホ講習会



今さら、こんなことは聞きにくい、どう質問していいかわからない。そんなお悩みに徹底して寄り添います。
地域の中学生アシストさんが皆さんをお手伝いします。
地域主催だから安心！皆さんのペースに合わせます。

12月1日(日) 9時30分~11時30分

[場所] 万倉ふれあいセンター多目的室 **無料**
[定員] 15名程度 **要申込**
[持参物] スマートフォン

LINEをインストールしていない方は30分前に会場にお越しください。
その際、AppleIDまたはgoogleアカウント、パスワードをご準備ください。

主催：万倉地区社会教育推進委員会
後援：万倉地区コミュニティ推進協議会
お申込み・お問い合わせ先：
万倉ふれあいセンター TEL：0836-67-0201

第2回万倉地区社会教育推進委員会では、12月1日(日曜日)に開催する第1回スマホ講習会の開催に向けて具体的な協議をしました。万倉地区コミュニティ推進協議会で高齢者の方から「スマホの使い方がよく分からない」という声が上がリ、社会教育推進委員会主催でスマホ入門編の講座を開催することが決まりました。委員で万倉在住の65歳以上を対象としたチラシを作成し、地区の老人会にも声をかけています。楠中学校のボランティア中学生にアシストしてもらいます。

中学生も地域貢献のために汗を流してくれることでしょう。

大雨や土砂災害など防災に関する情報をいち早く知ってほしいとの願いから、この講習会の目標は、宇部市のWebサイトが閲覧できることです。さらに、「うべポイント」なども使えるようになるといいですね。

10月30日（水曜日） 山口県社会教育委員連絡協議会 地区別研修会（西部地区）
事例発表「学校との連携による活力ある地域づくり」
【地域学校協働活動】
岬地区社会教育推進委員会



10月30日（水曜日）ときわ湖水ホールで、令和6年度山口県社会教育委員連絡協議会地区別研修会（西部地区）が開催され、県・西部地区社会教育委員、教育委員会事務局関係者約50名が集いました。東部地区の参加希望者には動画が配信されました。この研修会の事例発表として、本市の第1回地域学校協働活動研修会で発表された岬地区社会教育推進委員会会長と岬小学校長が、「学校との連携による活力ある地域づくり」と題して発表しました。

岬地区「みさき健康フェア」と岬小学校「岬小スポーツ・デイ参観日」の共同開催による地域学校協働活動は、広い年齢層が一同に取り組むことができたことや、参加者の増加と活性化が図られたこと、社会教育推進委員会にPTA世代から新しく委員に加入した人ができたこと等、地域に大きな成果・効果をもたらしています。

宇部市の実践が、参加者の今後の活動の参考となることを願っています。

9月26日(木曜日) 中学生の学習の場に神原ふれあいセンターを提供！
【地域学校協働活動】
神原地区社会教育推進委員会



夏休み中、生徒たちのために、神原ふれあいセンターの空き部屋を中学生の学習の場として開放しました。この事業の運営者として「OPEN PLACE事業企画運営委員会」が設置され、社会教育推進委員会委員数名も所属しています。

夏休みには延べ35人の3年生の利用があり、現在は11月の期末試験に向けて、簡単に利用申し込みができるようにWebアプリを開発中です。本日の委員会では、中学校との連携、ふれあいセンターの空き部屋の確保、見守りボランティアの募集等事業の仕組みづくりについて協議しました。

今後は、高校生や、保護者、地域の方に協力してもらえるよう、地区だよりでも広く周知していきます。地域・ふれあいセンター・学校が連携協働した仕組み作りが本格的に進んでいます。

9月17日（火曜日） 「みさき健康フェア」について協議 【地域学校協働活動】 岬地区社会教育推進委員会

測って、知って、健康づくり みさき健康フェア

岬小学校児童・保護者も参加！

11月16日(土) 9:00~11:20

○ 場 所：岬ふれあいセンター、岬小学校運動場・体育館
(開会式を行うため9:00に体育館集合)

※開会式終了後の参加も可能

○ 対 象：岬地区在住の小学生以上の方
○ 持参物：動きやすい服装、運動靴（内・外）、飲み物
○ 参加料：無料

○ 内 容

【ふれあいセンター2階 会議室】
血圧・身長・骨密度・体組成・AGEs・握力・
視力測定・神反応・健康相談コーナー

【運動場】
50m走・運動会の全校種目「運動王にオレはなる」

【体育館】
立ち幅跳び・長座体前屈・上体起こし・反復横跳び
長縄跳び

*希望する測定のみ参加も可能です（健康状態に十分注意してください）
*雨天決行（一部内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください）
*駐車場は岬ふれあいセンター駐車場又は岬小学校運動場をご利用ください

岬小学校の児童と楽しく健康づくりをしましょう！

主 催 / 岬地区社会教育推進委員会

9月17日（火曜日）第2回岬地区社会教育推進委員会では、社会教育推進委員会と岬小学校が協働で開催する「第2回みさき健康フェア」について、昨年度の成果や反省点を活かそうと熱心な協議が行われました。

新たに測定する※AGEsのことや、測定に要する時間、プログラムの順番など、新たな内容を盛り込みながら当日の運営がスムーズにできるように知恵を出し合いました。また、昨年度の大きな課題だった地域の参加者を増やすための方法としては、「岬だより11月号」に併せて案内チラシを全戸配布することで皆の意見がまとまりました。さらに、「みさき健康フェア」終了後に第3回岬地区社会教育推進委員会を開催し、感想や反省点等について意見交換や協議を行うことにしました。

事後のふりかえり、課題解決に向けた新たな挑戦といったPDCAサイクルの構築が、学校と地域の協働活動を継続実施する秘訣ではないでしょうか。

（※食事などで過剰摂取した糖とタンパク質が結びつき、老化や心臓病、骨粗鬆症、アルツハイマー病等

8月18日（日曜日） 宇部高生による「音楽教室」 “手作り楽器で演奏会” 【地域学校協働活動】 上宇部ふれあいセンター



社会教育推進委員会主催で、宇部高校探究科2年生国語B班(音楽班)による「音楽教室」「手作り楽器で演奏会」を上宇部会館で開催しました。国語B班(音楽班)は、音楽の楽しさの幅を広げることをテーマに研究を進めています。身近なもので楽器を作って演奏するイベントを地域と一緒にやりたいとの生徒の思いを聞いた地域学校協働活動推進員が、社会教育推進委員会で提案し、実現に至りました。上宇部地区だよりに案内を載せたり、高校生作成のチラシを回覧したりして参加者を募集しました。演奏会当日は、23名(地域17名、高校生6名)が参加しました。3班に分かれて、ストロー笛、ヘアピンカリンバ、風船たいこを製作し、最後に全員で童謡「ふるさと」を演奏しました。6歳から70代までという幅広い世代が揃い、楽器製作と演奏を楽しむことができました。参加された地域の方からは、今後も高校生との活動を行いたいという嬉しい声も寄せられました。高校生と地域との交流を深める協働活動として参考になればと思います。

8月19～23日 月曜日～金曜日 夏休み「ラジオ体操」【地域学校協働活動】
 鵜の島地区社会教育推進委員会



社会教育推進委員会主催で、今年度初めて夏休み「ラジオ体操」が、夏休み最後の週の5日間、鵜ノ島小学校グラウンドで行われました。小学生と地域の方々が一緒に朝8時から、元気よく体を動かして一日の始まりを気持ちよくスタートさせることができました。この取組は、鵜ノ島小学校運営協議会の会議の中で、児童の体力低下が話題になり、ラジオ体操で体力作りをしてみたいという意見があり、実施に向け社会教育推進委員会で内容を協議、地域住民も加わって具現化されました。同校の運動委員会と保健委員会の児童がスタンプカードを作成した上に、当日は前に出てお手本の体操をしたり、動きのポイントを説明したりと活躍しました。毎回、小学生約40人、大人約20人が集まりました。児童が主体的に活動する地域学校協働活動として参考にしたい好事例です。

7月22日(月曜日) スマホ教室 【社会教育活動】
新川地区社会教育推進委員会



7月22日(月曜日)に、社会教育推進委員会主催でスマホ教室を開催し、5名の方が参加されました。今回の教室では、iPhoneやAndroidなどのスマホとパソコンの間でUSBケーブルを使って写真を送受信し、大切な写真データをパソコンに移し、スマホの空き容量を増やすことがテーマでした。そのためスマホに保存された写真の移動先として自分のパソコンにフォルダーを作成することからスタートしました。このスマホ教室は、令和4年10月に開始していますが、年3~4回実施しながら3年目を迎えました。ふれあいセンター館長が講師となり、社会教育推進委員会委員数名もサポートに入り、参加者それぞれの相談に乗りながら進めています。今年度は、ペーパークラフト教室(月2回)もスタートしており、社会教育活動の企画・実施を進めています。

SNSを活用した情報発信 【社会教育活動】
常盤地区社会教育推進委員会



フェイスブック



常盤地区社会教育推進委員会では、取組の様子や協働活動、地域行事の様子が地域住民にできるだけ早く届くようにSNSを活用しています。「tokiwano_wa」これまで活動に参加していなかった人も、SNSで実際の活動の様子を見ることができ、興味をもつきっかけとなります。また、SNSを活用することで幅広い校種・世代への情報発信となり、地域活動の活性化につながるよう工夫しています。